

松本市・山形村・朝日村中学校組合立鉢盛中学校 学校施設個別施設計画



令和2年11月

松本市・山形村・朝日村中学校組合

【 目 次 】

第1章	個別施設計画の背景・目的等	
(1)	背景	1
(2)	目的	1
(3)	位置付け	1
(4)	計画期間	2
第2章	学校施設の目指すべき姿	2
第3章	学校施設の実態	
(1)	対象施設一覧	3
(2)	児童生徒数・学級数の推移	4
(3)	学校施設の配置状況	5
(4)	施設関連経費の推移	6
(5)	学校施設の保有量	7
(6)	学校施設の老朽化状況の実態	8
第4章	学校施設整備の基本的な方針等	
(1)	学校施設の規模・配置計画等の方針	17
(2)	学校施設の長寿命化改良事業の基本方針	17
第5章	基本的な方針等を踏まえた施設整備の水準等	
(1)	改修等の整備水準	19
(2)	維持管理の手法等	20
第6章	長寿命化の実施計画	
(1)	今後10年間の整備計画	21
(2)	今後の施設整備計画	22
第7章	個別施設計画の継続的運用方針	
(1)	情報基盤の整備と活用	23
(2)	推進体制の整備	23
(3)	フォローアップ	23

第1章 学校施設の個別施設計画の背景・目的等

(1) 背景

松本市・山形村・朝日村中学校組合立鉢盛中学校は、昭和42年に設立されました。その後、機能面や老朽化、生徒数の増加に対応するために平成4年から平成7年にかけて改築工事をおこない現在の校舎が竣工しています。

これから施設の老朽化や生徒数の変化、多様な学習形態に対応するため、現況等を調査し老朽化の実態を把握し、状態に応じた改修や計画的な維持管理をおこなっていくことが必要になります。

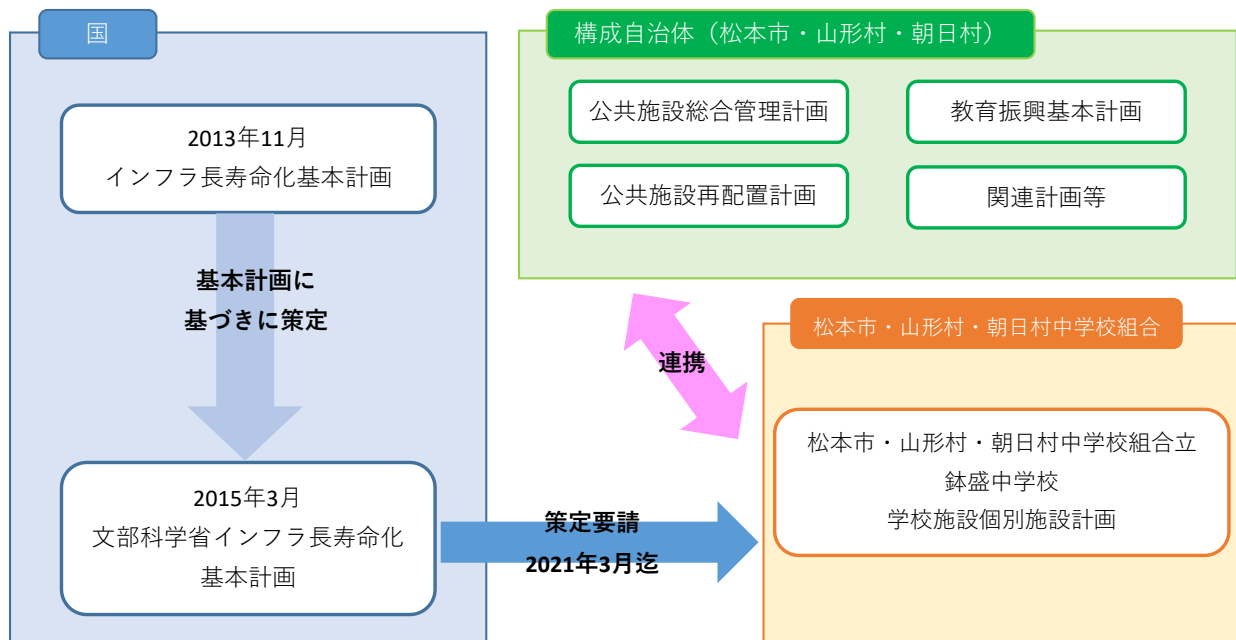
(2) 目的

施設の実態を把握し、従来の対処療法的な維持管理から、施設の予防保全的な維持管理へ転換することで建物の機能や設備を常に良好な状態に保ちます。また、従来のように施設を耐用年数で建て替えるのではなく、一定の築年数経過時に施設の長寿命化改良工事¹をおこなうことにより、施設を長く良い状態で使用していくことが可能となります。それらを踏まえ、ライフサイクルコストの縮減、財政負担の平準化を図っていくことを目的に本計画を策定します。

(3) 位置付け

本計画は、学校施設の長寿命化に向けた方向性や整備内容を示すものであり、国のインフラ長寿命化計画や組合構成自治体の関連計画と整合を図ります。

■位置付けのイメージ図



¹長寿命化改良工事…建物を構造躯体のみの状態にし、コンクリートの中性化対策や鉄筋の腐食対策等をおこなうことで、経年による劣化を回復させ、建物寿命を延ばし、従前より長期間の使用が可能となる。躯体補修後、建物の機能や性能を現在の学校が求められている水準まで引き上げる全面改修を行う工事のこと。

(4) 計画期間

令和3年から令和12年までの10年間とします。ただし、実施については施設の老朽化の状況等を把握し、検討します。また、本計画については事業の進捗状況、施設の劣化の状況により、概ね5年を目途に見直しを行います。



第2章 学校施設のめざすべき姿

学校施設は、未来を担う子どもたちにとって、学び・成長する場としてかけがえのない場所であるとともに、次代を切り拓く力を育成する場所です。そのような場所は、以下に示すことが必要になります。

(1) 安全安心な学校施設

生徒が一日の大半を過ごす学習・生活環境の場であるため、安全安心で快適な施設整備が必要となります。それには耐震性だけでなく、防犯性やバリアフリー性も高め、誰もが安心して訪れることができる学びの場を目指します。

(2) 時代に即した学習環境

近年、生徒一人ひとりの状況に合わせた少人数指導や特別支援教育、情報化社会の進展と普及に伴うICTを活用した授業等、教育内容・方法の多様化を踏まえ、時代に即して柔軟な教育環境整備が必要です。また、LED照明や施設の断熱性の向上など省エネルギー化により、環境に配慮した施設整備にも積極的に取り組みます。

(3) 地域拠点としての役割

学校施設は、生徒の学習の場としてだけでなく、防災拠点や避難所、社会体育、地域行事といった地域の重要な拠点としての役割も担っています。地域の人々が安全に利用できるよう耐震性の向上や、避難所となった際に被災者が困らないような機能の拡充等を進めていきます。

第3章 学校施設の実態

(1) 対象施設一覧

本計画の対象となる施設を以下に示します。

計画対象は、200 m²以下の小規模建物を除いた建築物を対象としています。

中学校 1校

鉢盛中学校（長野県東筑摩郡朝日村大字古見 3332-5）

棟名	建築年		築年数	構造	床面積	備考
特別教室棟	1992	平成4年	28年	R C造	2,331m ²	
普通教室棟	1994	平成6年	26年	R C造	3,135m ²	
管理棟	1995	平成7年	25年	R C造	1,487m ²	
給食室棟	1994	平成6年	26年	R C造	246m ²	
屋内運動場	1993	平成5年	27年	S造	1,553m ²	
武道場	1981	昭和56年	39年	S造	602m ²	旧耐震基準(H21補強)

(2) 生徒数・学級数の推移

生徒学級数の推移については、昭和42年を最高に、生徒数・学級数ともに令和2年までに大きく減少していますが、35人規模学級編制の導入や、インクルーシブ教育の高まり、子どもの多様な学びの場の広まりによる特別支援学級等の増加により、学級数は生徒数と比べると緩やかな漸減傾向が予想されます。

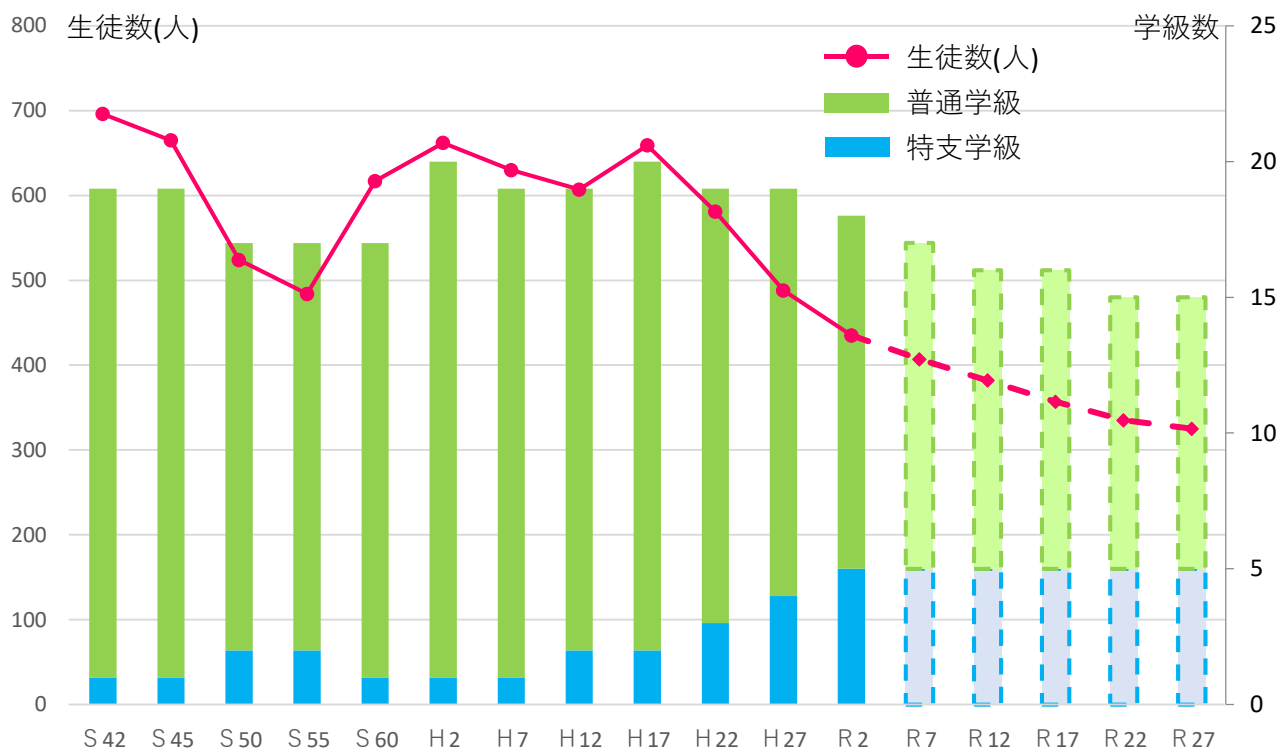
今後は、生徒数学級数の減少に合わせて、空き教室等の有効な活用手段を検討していきます。また長寿命化改良工事の際には、これからの社会要望に応じた多様な学習に対応できるような学校整備を目指す必要があります。

■生徒数・学級数の推移

<児童生徒数>

(人)

年	これまでの推移													将来推計				
	西暦	1967	1970	1975	1980	1985	1990	1995	2000	2005	2010	2015	2020	2025	2030	2035	2040	2045
	和暦	S42	S45	S50	S55	S60	H2	H7	H12	H17	H22	H27	R2	R7	R12	R17	R22	R27
生徒数(人)	696	665	524	484	617	662	630	607	659	581	488	435	407	382	357	335	325	
特支学級	1	1	2	2	1	1	1	2	2	3	4	5	5	5	5	5	5	
普通学級	18	18	15	15	16	19	18	17	18	16	15	13	12	11	11	10	10	
学級数合計	19	19	17	17	17	20	19	19	20	19	19	18	17	16	16	15	15	

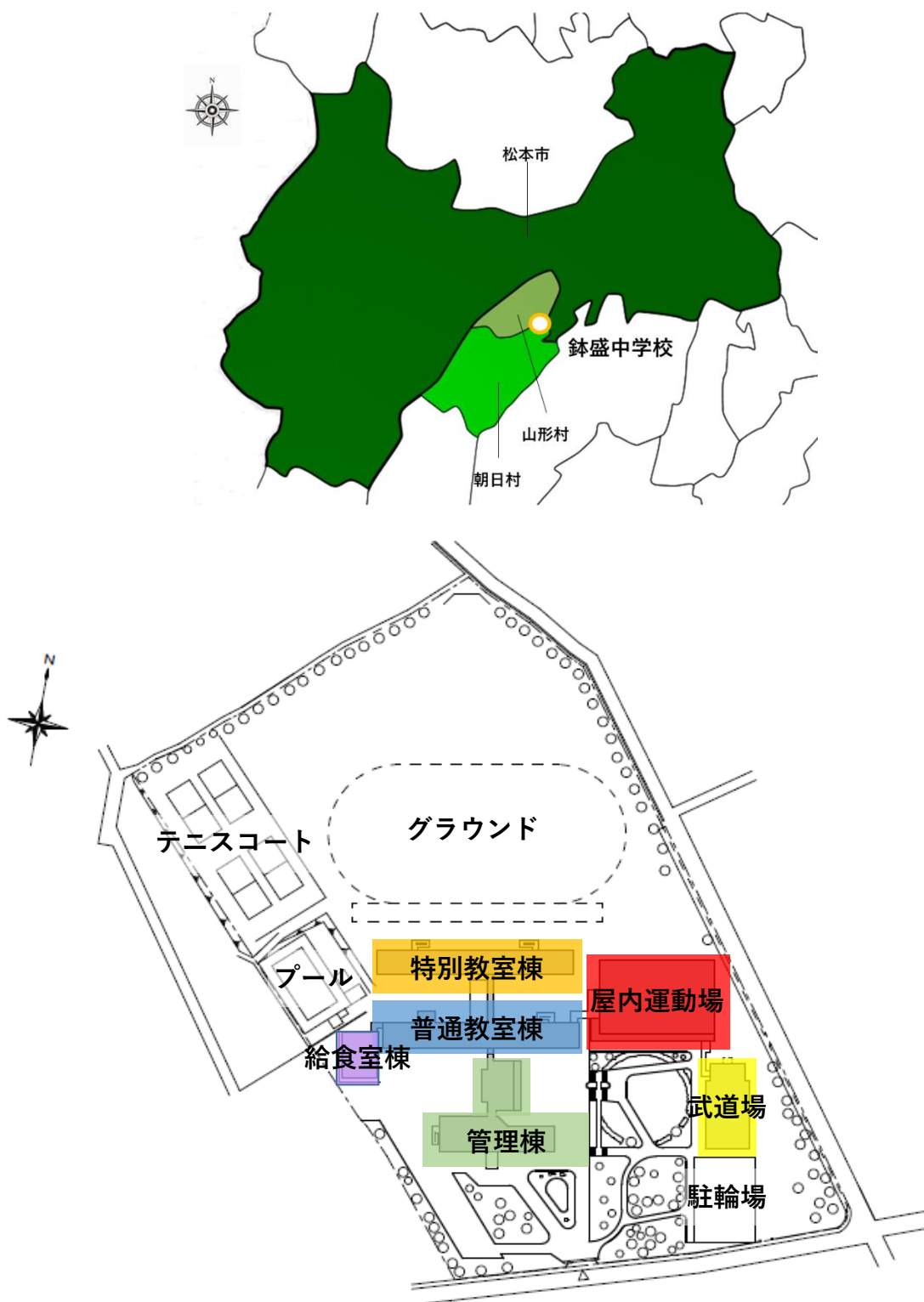


国立社会保障・人口問題研究所データより推計値算出

(3) 学校施設の配置状況

鉢盛中学校は、松本市、朝日村、山形村の3自治体により設立され、3つの地域にまたがる位置に配置しています。学校施設は、南北に伸びた敷地内に、校舎棟（特別教室棟、普通教室棟、管理棟）及び給食室棟、屋内運動場、武道場の6棟からなります。

■学校の配置状況



(4) 施設関連経費の推移

平成 27 年度～令和元年度の 5 年間の鉢盛中学校の施設関連経費は、約 1 千 7 百万～5 千 4 百万円となっており、5 年間の平均では、約 2 千 7 百万円となります。

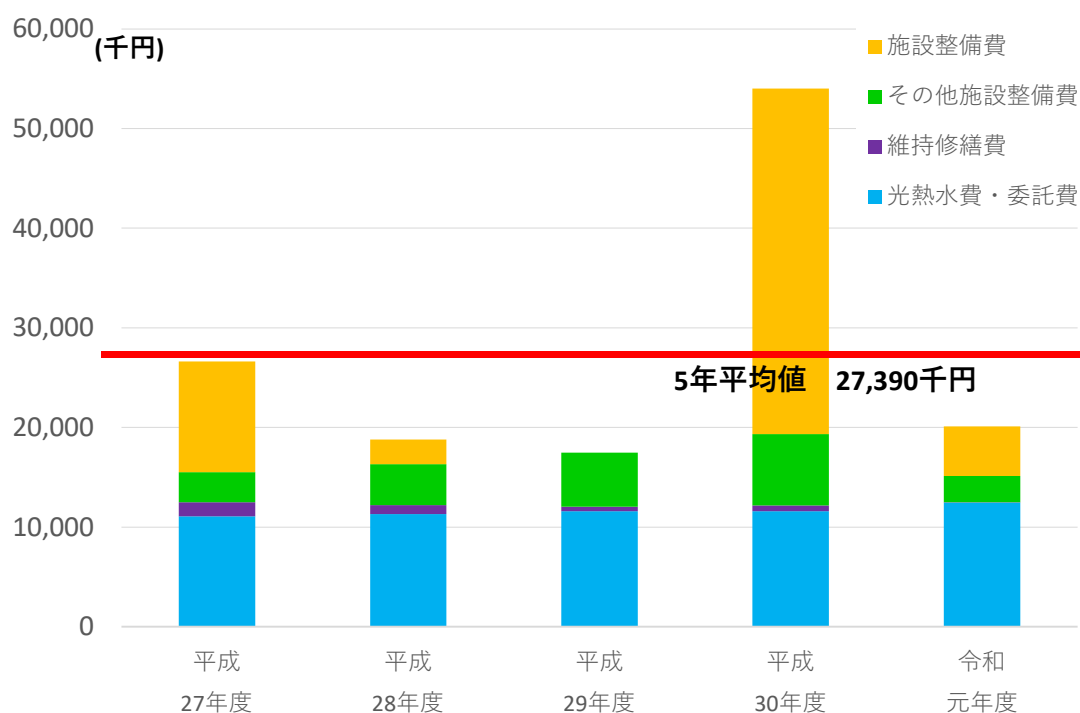
ここ 5 年に関しては、施設整備費以外の費用については、ほぼ横ばいで推移しており、年度毎の施設整備費により全体費用に大きく変動があることがわかります。

今後は、ほとんどが築 30 年以上の老朽化施設となるため、より一層施設整備費が増大していくことが予想されます。

■直近 5 年間の施設関連費

(単位：千円)

	平成 27年度	平成 28年度	平成 29年度	平成 30年度	令和 元年度	5年平均
施設整備費	11,130	2,460	0	34,660	4,970	10,640
その他施設整備費	3,020	4,130	5,400	7,160	2,630	4,460
維持修繕費	1,410	900	460	570	60	680
光熱水費・委託費	11,070	11,300	11,600	11,610	12,450	11,600
施設関連経費合計	26,630	18,790	17,460	54,000	20,110	27,390

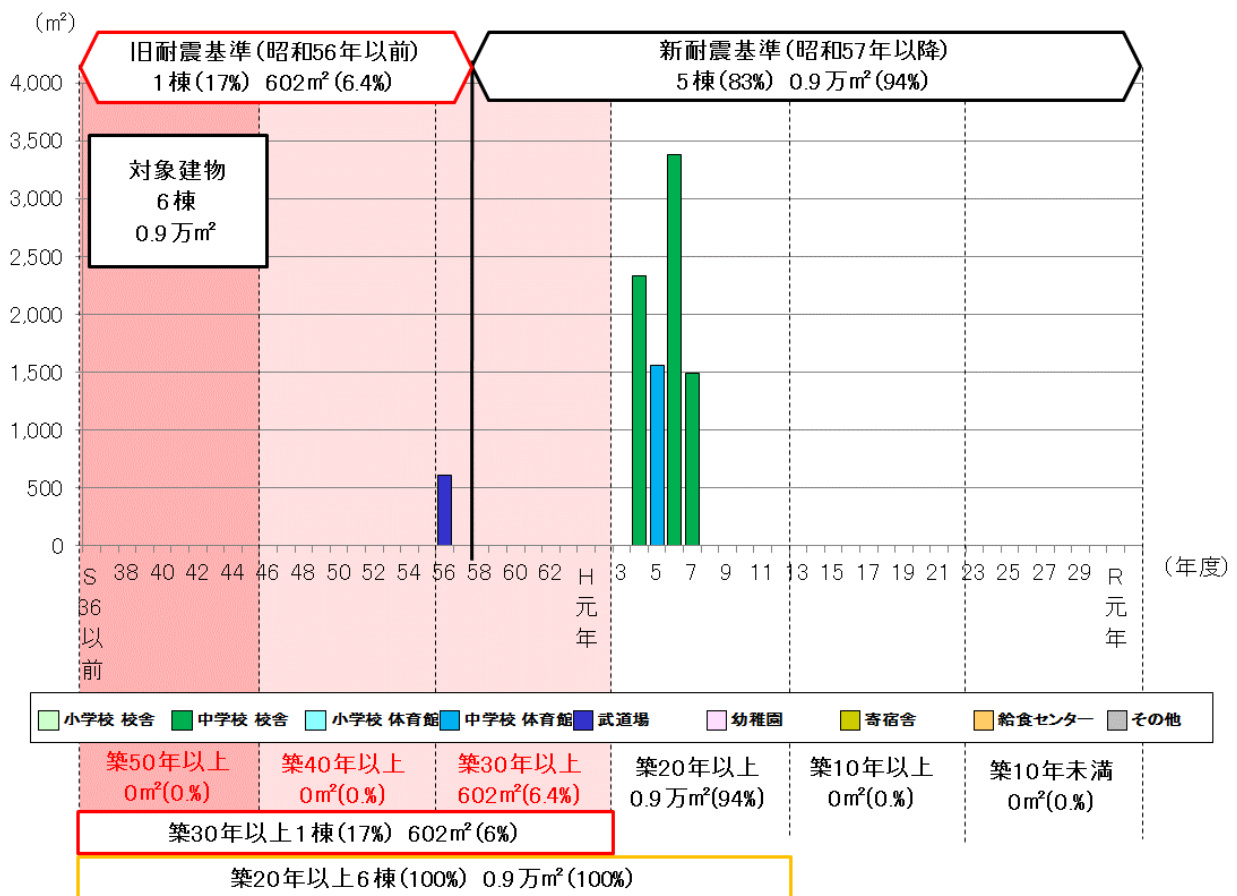


(5) 学校施設の保有量

計画対象となる施設で、築30年以上経過しているのは武道場の1棟のみとなっています。残りの棟は、いずれも平成初期に改築され、令和2年時点で築25年から28年経過しています。

敷地面積は、24,482 m²、施設の延べ床面積は9,512 m²（小規模建物を含む）となっています。現施設建設時と比べ、生徒数は大きく減少していることから、長寿命化改良工事の際には、生徒数に応じた規模の縮小も含め検討が必要となります。

築年別整備状況



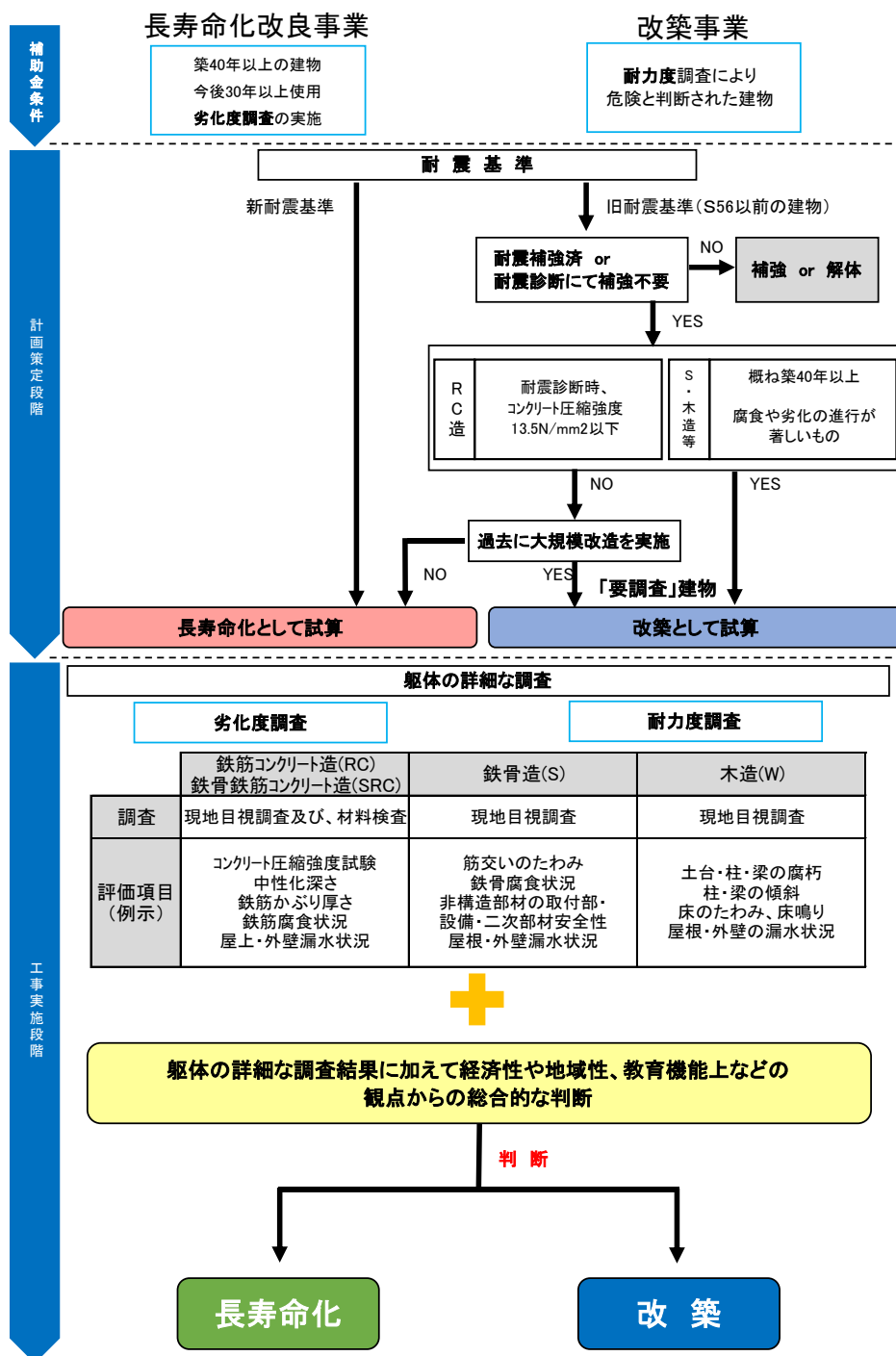
文部科学省提供資料により作成

(6) 学校施設の老朽化状況の実態

ア 構造躯体の健全性の把握

今後の事業費算出にあたっては、構造躯体の健全性を整理し、長期間の建物使用の可否を評価する必要があります。建物の築年数、耐震診断時のコンクリート圧縮強度等を指標として、今後の改修方針として長定命化改良工事が可能か否か以下のフローを基に区分けします。

■長定命化改良事業判定フロー



※劣化度調査とは、耐力度調査を参考にした調査とされており、基本的な調査内容は同一である。
耐力度調査のように耐力度点数を算出する必要はない。

イ 躯体以外の劣化状況の把握

生徒数が多い場合や学校毎に劣化が進みやすい部位があるなど、老朽化が進展する要素は多様であり、経過年数のみで老朽化状況を一概に評価することができません。

構造躯体以外の劣化状況の把握及び、今後の維持管理計画を検討するため、構造躯体以外の劣化状況等を「建築基準法12条に定める3年に1回の定期点検」及び、文部科学省の「学校施設の長寿命化計画策定に係る解説書」を基に調査・把握し、「劣化状況調査票」を作成することで建物健全度の点数化を行いました。なお、点数が低いほど劣化が進行している状態となります。※各棟の結果は別紙巻末資料のとおり

以下に劣化状況の調査結果や算定方法を記載します。

■健全度調査結果のまとめ

番号	棟名	建築年	築年数	構造	健全度	判定結果
1	特別教室棟	1992	28年	R C造	75点	長寿命化
2	普通教室棟	1994	26年	R C造	75点	長寿命化
3	管理棟	1995	25年	R C造	75点	長寿命化
4	給食室棟	1994	26年	R C造	84点	長寿命化
5	屋内運動場	1993	27年	S造	77点	長寿命化
6	武道場	1981	39年	S造	67点	改築

※武道場は、耐震補強済ではあるが、鉄鋼部材の老朽化や、他施設との一体的な整備を考慮して改築を基準に計画します。

■健全度の算定基準

部位ごとに下記の基準に従って、A～Dの評価をおこない劣化状況調査票に記入します。

目視による評価【屋根・屋上、外壁】

経過年数による評価【内部仕上げ、設備】

評価	基準
A	概ね良好
B	部分的に劣化（安全上、機能上、問題なし）
C	広範囲に劣化（安全上、機能上、問題なし）
D	早急に対応する必要がある （安全上、機能上、問題あり） （躯体の耐久性に影響を与えている） （設備が故障し施設運営に支障を与えている）等

評価	基準
A	20年未満
B	20年～40年
C	40年以上
D	経過年数に関わらず著しい劣化事象がある場合

評価結果に応じ、部位毎にコスト配分に従って算定式によって計算します。

A～Dの総合評価及び、点数を算出します。

$$\text{健全度算定式} = (\text{部位の評価点} \times \text{部位のコスト配分}) \div 60$$

部位	コスト配分
屋根・屋上	5.1
外壁	17.2
内部仕上げ	22.4
電気設備	8
機械設備	7.3
計	60

健全度の点数評価

評価	評価点
A	100
B	75
C	40
D	10

■劣化状況調査票の作成例

通し番号	〇〇		
学校名	A学校	学校番号	46
建物名	校舎	調査日	平成30年8月10日
棟番号	1-1,2,3	建築年度	昭和48年度(1973年度)
構造種別	RC	延床面積	1,500 m ²
		階数	地上 2 階 地下 階

部位	仕様 (該当する項目にチェック)	工事履歴(部位の更新)		劣化状況 (複数回答可)	箇所数	特記事項	評価
		年度	工事内容				
1 屋根 屋上	<input type="checkbox"/> アスファルト保護防水	H28		<input type="checkbox"/> 降雨時に雨漏りがある			A
	<input type="checkbox"/> アスファルト露出防水			<input type="checkbox"/> 天井等に雨漏り痕がある			
	<input type="checkbox"/> シート防水、塗膜防水			<input type="checkbox"/> 防水層に膨れ・破れ等がある			
	<input checked="" type="checkbox"/> 勾配屋根(長尺金属板、折板)			<input type="checkbox"/> 屋根葺材に錆・損傷がある			
	<input type="checkbox"/> 勾配屋根(スレート、瓦類)			<input type="checkbox"/> 笠木・立上り等に損傷がある			
	<input type="checkbox"/> その他の屋根 ()			<input type="checkbox"/> 樋やルーフトンを目視点検できない			
				<input type="checkbox"/> 既存点検等で指摘がある			
2 外壁	<input type="checkbox"/> 塗仕上げ	H28		<input type="checkbox"/> 鉄筋が見えているところがある			D
	<input type="checkbox"/> タイル張り、石張り			<input checked="" type="checkbox"/> 外壁から漏水がある			
	<input type="checkbox"/> 金属系パネル			<input type="checkbox"/> 塗装の剥がれ			
	<input type="checkbox"/> コンクリート系パネル(ALC等)			<input type="checkbox"/> タイルや石が剥がれている			
	<input checked="" type="checkbox"/> その他の外壁 (塗装)			<input type="checkbox"/> 大きな亀裂がある			
	<input checked="" type="checkbox"/> アルミ製サッシ			<input checked="" type="checkbox"/> 窓・ドアの廻りで漏水がある			
	<input checked="" type="checkbox"/> 鋼製サッシ			<input type="checkbox"/> 窓・ドアに錆・腐食・変形がある			
	<input type="checkbox"/> 断熱サッシ、省エネガラス			<input type="checkbox"/> 外部手すり等の錆・腐朽			
				<input type="checkbox"/> 既存点検等で指摘がある			

部位	修繕・点検項目	改修・点検年度	特記事項(改修内容及び点検等による指摘事項)	評価
3 内部仕上 (床・壁・天井) (内部建具) (間仕切等) (照明器具) (エアコン)等	<input checked="" type="checkbox"/> 老朽改修	H28		D
	<input type="checkbox"/> エコ改修			
	<input type="checkbox"/> トイレ改修			
	<input type="checkbox"/> 法令適合			
	<input type="checkbox"/> 校内LAN			
	<input type="checkbox"/> 空調設置			
	<input type="checkbox"/> 障害児等対策			
	<input type="checkbox"/> 防犯対策			
	<input type="checkbox"/> 構造体の耐震対策			
	<input type="checkbox"/> 非構造部材の耐震対策			
4 電気設備	<input type="checkbox"/> 分電盤改修			A
	<input checked="" type="checkbox"/> 配線等の敷設工事	H28		
	<input type="checkbox"/> 昇降設備保守点検			
	<input type="checkbox"/> その他、電気設備改修工事			
5 機械設備	<input checked="" type="checkbox"/> 給水配管改修	H28		A
	<input checked="" type="checkbox"/> 排水配管改修	H28		
	<input type="checkbox"/> 消防設備の点検			
	<input type="checkbox"/> その他、機械設備改修工事			

特記事項(改修工事内容や12条点検、消防点検など、各種点検等による指摘事項が有れば、該当部位と指摘内容を記載)
 外壁の劣化が進んでおり、ひび割れ、モルタル、浮き等が見られる。漏水も発生していることから詳細な調査が必要

--

健全度
41 / 100点

■調査結果(抜粋)

校舎棟 (特別教室棟・普通教室棟・管理棟)

築 25 年前後が経過しているため、部分的に破損や不具合が生じ始めている。







屋根 ・ 屋 上	部位・場所	普通教室棟 鋼板屋根	部位・場所	普通教室棟 陸屋根		
	改修履歴	竣工当時のまま (H6)	改修履歴	竣工当時のまま (H6)		
						
	約25年経過しており耐用年数を経過している。 屋根材・樋にも軽微な錆が発生している。		評価	アスベスト防水上に玉砂利敷となっている。 苔が多く発生しており、内部で漏水も見られる。		評価
		B		B		
	部位・場所	管理棟 鋼板屋根	部位・場所	特別教室棟 塗膜防水		
	改修履歴	竣工当時のまま (H7)	改修履歴	竣工当時のまま (H4)		
						
	約25年経過しており耐用年数を経過している。 屋根材・樋にも軽微な錆が発生している。		評価	屋外階段塗膜防水部は破損している。 改修が必要。		評価
		B		B		
外 壁	部位・場所	特別教室棟 外壁全景	部位・場所	特別教室棟 外壁		
	改修履歴	竣工当時のまま (H4)	改修履歴	竣工当時のまま (H4)		
						
	全体的に著しい外壁の劣化は見られないが、フォーキング現象が進行していることから改修時期の検討が必要。		評価	部分的に塗装の剥離が発生している。		評価
		B		B		

外 壁	部位・場所	普通教室棟 外壁	部位・場所	管理棟 外壁	
	改修履歴	竣工当時のまま (H6)	改修履歴	竣工当時のまま (H7)	
					
	<p>複数個所でクラックが発生している。 ひび割れ幅が拡大する場合は、対処が必要。</p>		<p>クラック、白華現象が発生している。要補修。</p>		
	評価	B	評価	B	
内 部	部位・場所	特別教室棟 廊下	部位・場所	特別教室棟 便所	
	改修履歴	竣工当時のまま (H4)	改修履歴	竣工当時のまま (H4)	
					
	<p>部分的なクロスや壁材の劣化は見られるものの、概ね 良好な状態。</p>		<p>和式便器が多く残り、湿式床の状態。 老朽化が進んでいるため、改修時期を要検討。</p>		
		評価	A	評価	B
	部位・場所	普通教室棟 階段室	部位・場所	管理棟 ホール	
改修履歴	竣工当時のまま (H6)	改修履歴	竣工当時のまま (H7)		
					
<p>クラック部から漏水が見られる。 原因部位を特定し、補修が必要。</p>		<p>天井材に雨漏り跡が見られる。 原因部位を特定し、補修が必要。</p>			
	評価	B	評価	B	

内部	部位・場所	管理棟 倉庫	部位・場所	特別教室棟 窓
	改修履歴	竣工当時のまま (H7)	改修履歴	竣工当時のまま (H4)
				
内壁にクラックが見られる。これ以上進行する前に補修が必要。		評価	建築基準法に定める防火設備に対応していない。	
		B	B	
設備	部位・場所	高架水槽	部位・場所	受変電設備
	改修履歴	竣工当時のまま (H6)	改修履歴	竣工当時のまま (H4)
				
25年以上経過しているため定期的に点検を行い、更新時期を検討。		評価	25年以上経過しているため定期的に点検を行い、更新時期を検討。	
		B	B	







給食室棟

調理室内装改修を実施しているため、内装は健全であるが、外部及び廊下部分の老朽化が進行している。

屋根・屋上	部位・場所 改修履歴	給食室棟 外部全景 竣工当時のまま (H6)	部位・場所 改修履歴	給食室棟 樋 竣工当時のまま (H6)
				
約25年経過しており耐用年数が近い。		評価 B	錆が発生している。 評価 B	
外壁	部位・場所 改修履歴	給食室棟 外壁 竣工当時のまま (H6)	部位・場所 改修履歴	給食室棟 外壁 竣工当時のまま (H6)
				
外壁にクラックが発生している。		評価 B	外壁バ 礼にクラックが発生している。 評価 B	
内部・設備	部位・場所 改修履歴	給食室棟 調理室 内部改修 (H30)	部位・場所 改修履歴	給食室棟 廊下 竣工当時のまま (H6)
				
内部改修を実施しており、内装・調理設備ともに健全な状態。		評価 A	給食運搬を毎日しているため、床の老朽化が進行している。 評価 B	

屋内運動場・武道場

屋根部は改修が実施されている。それ以外の部分については、老朽化が進行しているため、外部改修及び、内部部分改修の計画的実施が必要。

屋根・屋上	部位・場所 改修履歴	屋内運動場 鋼板屋根 屋根塗装工事 (R2)	部位・場所 改修履歴	武道場 鋼板屋根 屋根塗装工事 (R2)	
					
改修済みにより健全		評価 A	改修済みにより健全		
外壁	部位・場所 改修履歴	屋内運動場 外壁 竣工当時のまま (H5)	部位・場所 改修履歴	屋内運動場 外壁 竣工当時のまま (H5)	
					
	約25年経過しており、外壁のチョーキング現象やコーキングの破断が発生している。		評価 B	壁塗の塗装の剥がれ、ひび割れが発生している。	
	評価 B		評価 B		
	部位・場所 改修履歴	武道場 外壁 竣工当時のまま (S56)	部位・場所 改修履歴	武道場 外階段 竣工当時のまま (S56)	
					
築40年近く経過している。 外部の老朽化が進行している。		評価 B	ひび割れ、段鼻タイルの剥離が発生している。		
評価 B		評価 B			

外壁	部位・場所	屋内運動場 軒天	部位・場所	武道場 外壁
	改修履歴	竣工当時のまま (H5)	改修履歴	竣工当時のまま (S56)
				
	漏水による軒天の割れが生じており、交換が必要。		外付ブレースの錆が発生しているため、再塗装が必要。	
	評価 B		評価 B	
内部	部位・場所	屋内運動場 内部	部位・場所	屋内運動場 器具庫
	改修履歴	非構造部材耐震工事(H26)	改修履歴	竣工当時のまま (H5)
				
	部分的に傷んでいる部分はあるが、概ね良好。		内壁の破損が数箇所発生している。	
	評価 B		評価 B	
	部位・場所	武道場 内部	部位・場所	武道場 渡り廊下
	改修履歴	H21耐震改修	改修履歴	竣工当時のまま (S56)
				
	部分的に傷んでいる部分はあるが、概ね良好。		鉄部塗装の老朽化が見られる。	
	評価 B		評価 B	

※武道場はH21耐震補強工事により部分改修をおこなっています。

第4章 学校施設整備の基本的な方針等

(1) 学校施設の規模・配置計画等の方針

今後の構成市村の財政状況や通学区内の人口特性に見合った適切な施設保有量の検討をおこなうとともに、これまでの1施設1機能の前提から、施設の多機能化や複合化、集約化も検討していきます。

また、松本市・山形村・朝日村の3市村それぞれ将来目指すまちづくりを見据え、地域特性を考慮した広域的な視点で取り組みます。

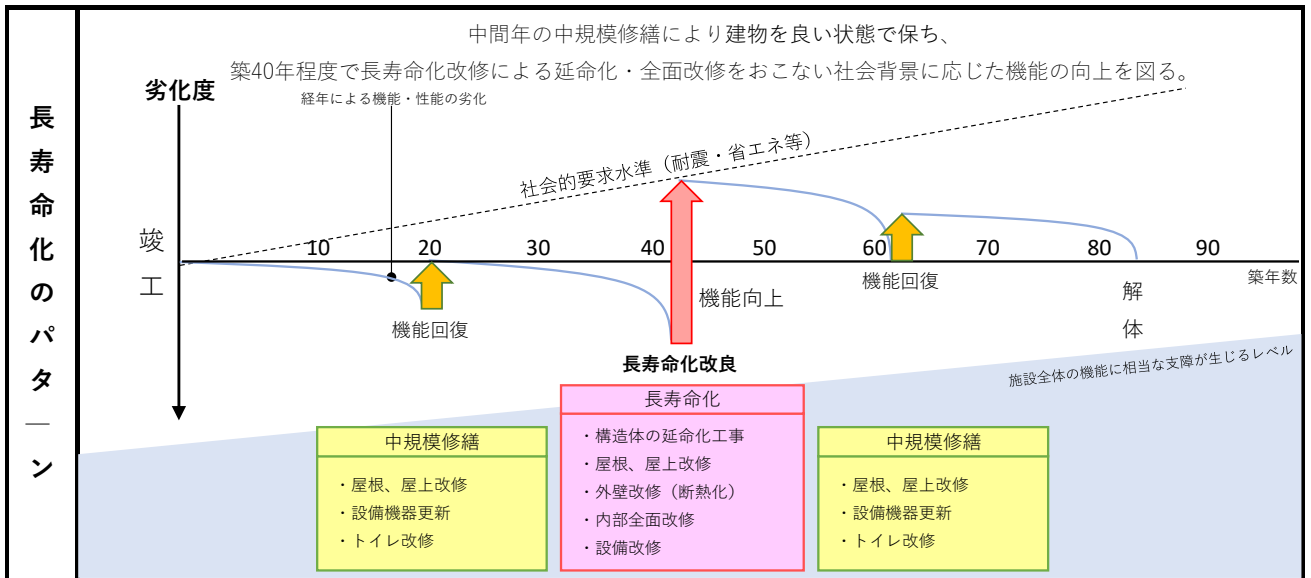
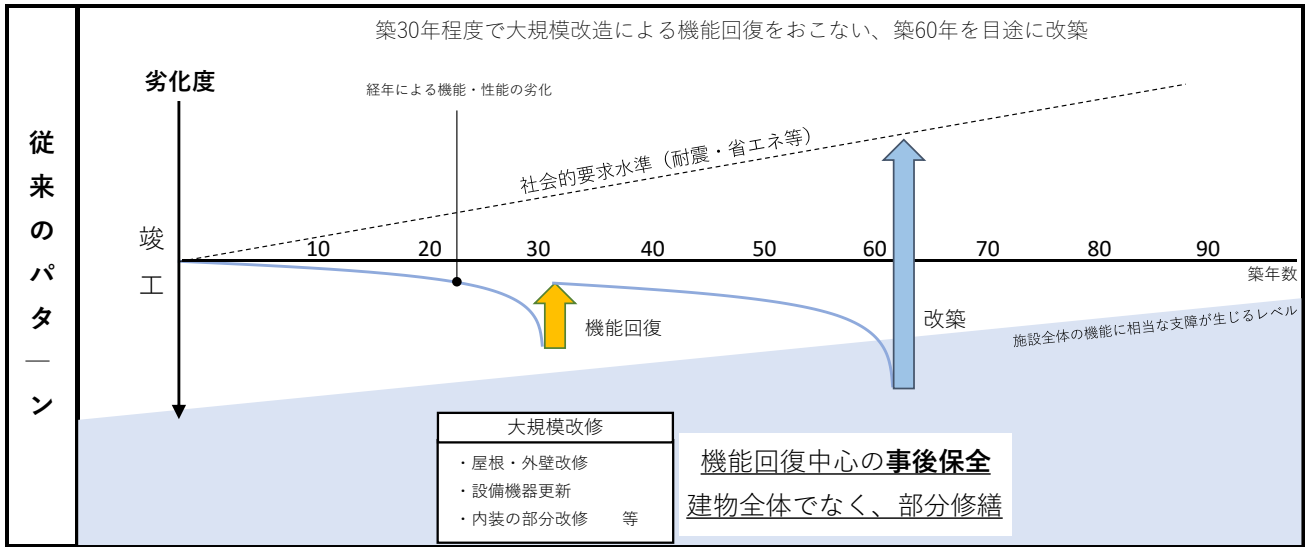
(2) 学校施設の長寿命化改修事業の基本方針

従前、学校施設については築20年から30年で大規模改修工事を行い、築60年以上で改築としてきました。

今後は、築40年経過時に建物の詳細な調査を実施し、その結果を受けて、長寿命化改修工事を行い、建物寿命を延ばすことで、その後30年から40年使用するものとします。改築時期については、建物の構造体の調査を定期的に行い、改築時期を見極めます。

また今後の維持管理の考え方も建物の著しい劣化や危険な状態が確認されてから改修工事を行う「事後保全型」ではなく、あらかじめ建物の状況を検証し、優先順位を見定め、適切な時期に必要な改修工事を行うことを基本とした「予防保全型」の維持管理を徹底することにより、学校施設に求められる機能及び性能を確保し、できるだけ長く利用していくことを基本方針とします。

■従来方式からの転換イメージ



第5章 施設整備の水準等

(1) 改修等の水準

今後、改築や長寿命化、その他改修工事を実施するに当たり、各建物の整備レベルの統一を図るため、目安となる整備水準を設定します。設定に際しては、整備費用だけでなく、整備後の維持管理費用やメンテナンスの容易性、耐久性、省エネ性能の向上も考慮して仕様を検討しています。なお、改修の水準に関しては今後の新しい生活様式への対応や ICT 教育環境整備等の社会要求水準の高まり、他自治体の動向により見直しが必要となります。

■改修水準(参考)

工事部位		改築・長寿命化	大規模改修	
校舎	外部	屋根	ガルバリウム鋼板葺	再塗装(フッ素樹脂塗装) カバー工法(断熱材付)
		パラペット	シート防水	シート防水(カバー工法)
		ベランダ	塗装防水、アルミ手摺	防水再施工
		笠木	アルミ笠木	取替え(アルミ笠木)
		外壁	断熱化の上、塗装	クラック補修後外断熱
		軒天	リシン吹付、又は透水性塗装	既存仕上げに合せ改修
		窓・サッシ	アルミサッシ+複層ガラス	カバー工法(複層ガラス)
	内部	床	木質化を取り入れた仕上げ	張替、再塗装(部分改修)
		壁		
		天井		
		建具・家具	木製、ユニバーサルデザイン	再塗装、部分改修
		照明器具	LED化(一部自動調光等)	LED化
		水栓器具・手洗い	節水型器具(一部自動水洗化)	老朽化部の更新
		トイレ	乾式床、洋式便器、壁掛小便器 多機能便所の整備	乾式床、洋式便器、壁掛小便器 多機能便所の整備
	設備機器	省エネ型	一部改修・更新	
	その他	段差等	バリアフリー化	可能な範囲で段差解消等
		非構造部材	非構造部材耐震化	非構造部材耐震化
	工事部位		改築・長寿命化	大規模改修
屋内運動場	外部	屋根	ガルバリウム鋼板葺	再塗装(フッ素樹脂塗装) カバー工法(断熱材付)
		パラペット	シート防水	シート防水(カバー工法)
		ベランダ	塗装防水、アルミ手摺	防水再施工
		笠木	アルミ笠木	取替え(アルミ笠木)
		外壁	サイディング張り	クラック補修後外断熱
		軒天	珪酸カルシウム版+塗装	既存仕上げに合せ改修
		窓・サッシ	アルミサッシ+複層ガラス	カバー工法(複層ガラス)
	内部	床	木質化を取り入れた仕上げ	張替、再塗装(部分改修)
		壁		
		天井		
		建具・家具	木製、ユニバーサルデザイン	再塗装、部分改修
		照明器具	LED化(一部自動調光等)	LED化
		水栓器具・手洗い	節水型器具(一部自動水洗化)	老朽化部の更新
		トイレ	乾式床、洋式便器、壁掛小便器 多機能便所の整備	乾式床、洋式便器、壁掛小便器 多機能便所の整備
	設備機器	省エネ型	一部改修・更新	
	その他	段差等	バリアフリー化	可能な範囲で段差解消等
		非構造部材	非構造部材耐震化	非構造部材耐震化

(2) 維持管理の手法等

ア 法定点検（専門事業者）

建築基準法に基づく建物、防火設備、昇降設備等の定期点検や、消防法に基づく消防用設備の点検を実施することで、施設の不具合を早期に発見し、その不具合を処理することで、施設の維持管理に係る費用を抑え、事故を未然に防ぎます。

イ 利用者による点検（学校職員）

学校職員による学校施設の非構造部材の点検や日常の点検を行うことで、不具合の小さいうちに修繕及び改修工事を実施します。

第6章 今後の実施計画

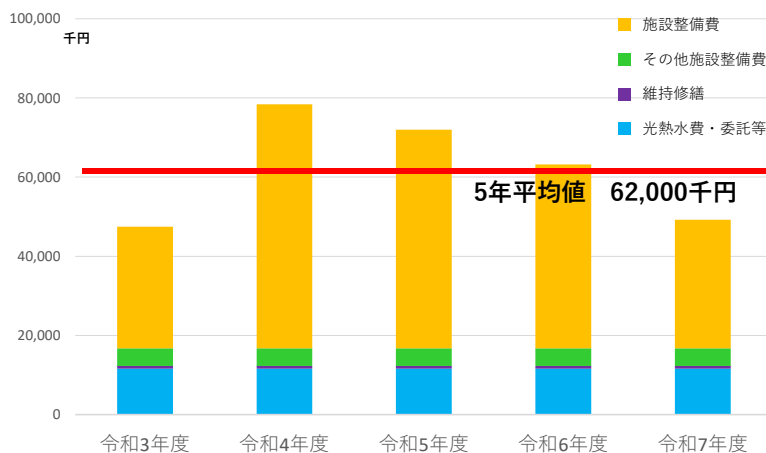
(1) 今後5年間の施設整備費

今後5カ年の計画は、以下のとおりとなっており、年平均6千2百万円程度の経費がかかる見通で、これまでの5年間の施設整備費の2.3倍以上の費用が必要となる試算となっています。さらに今後は、空調やICT関連整備による光熱水費の増加や突発的な施設の不具合・破損が生じる可能性が高くなることから、日常的な点検等を確実にを行い、事前に計画を立てていくことが重要となります。

■施設整備費5カ年実施計画

単位：千円

整備内容	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)	2025 (R7)	5箇年 合計額	財源			
							一般財源	特定財源	地方債	
1 空調設備整備事業 生徒の安全な学習環境整備のため、賃貸借契約により各普通教室及び特別教室に冷房設置をおこなう。	← リース期間 →					77,320	77,320	0	0	
2 屋根塗装工事 約25年が経過した校舎の屋根を3箇年かけて塗装改修工事をする。	特別教室棟 設計		普通教室棟・管理棟 設計			35,780	35,780	0	0	
3 受水槽改修工事 現在の受水槽は校舎改築時のものであり、受水槽の耐用年数は15年、また設置から30年経過前には更新すべきという技術的指導もあることから、劣化の状況に応じて改修を行う。	設計		工事			22,370	5,870	0	16,500	
4 校庭有孔管埋設工事 外部へ流出した分の砂を嵩上げし、再流出防止の擁壁を設置する。また、雨水を適正に処理するため、部分的に有孔管を埋設する。	工事					2,310	2,310	0	0	
5 生徒会室屋根敷砂利撤去・防水工事 生徒会室の屋根にある敷砂利を撤去し、防水加工を施すもの。	工事					1,650	1,650	0	0	
6 トイレ大規模改修事業 棟別に3箇年かけて、床の乾式化、洋式化等をトイレ整備をおこなう。プール、給食棟のトイレを除く23カ所のトイレで工事を実施する。	設計		普通教室棟 設計		屋内運動場 特別教室棟・武道場 設計		85,500	15,500	27,900	42,100
上記事業の合計額	30,750	61,630	55,230	44,810	32,510	224,930	138,430	27,900	58,600	
その他施設整備費	4,460	4,460	4,460	4,460	4,460	22,300	22,300	0	0	
維持修繕費	680	680	680	680	680	3,400	3,400	0	0	
光熱水費・委託費	11,600	11,600	11,600	11,600	11,600	58,000	58,000	0	0	



(2) 今後の施設整備計画

ここまでの整備方針等を基に、今後の中長期的な学校施設整備計画(約30年間)を示します。2036年から長寿命化改理事業実施を予定しているため、概算事業費ではあるものの、数年間に多大な事業費が必要となりえることから、改修などにあたっては、財政支出面での負担を考慮し、国庫補助事業を最大限に活用し財政支出の縮減を図ります。

■学校施設整備計画

単位:百万円

施設名	特別教室棟	普通教室棟	管理棟	給食室棟	屋内運動場	武道場	プール・付属施設	その他	光熱水費 維持修繕等 諸経費	事業費計	
建築年	1992	1994	1995	1994	1993	1981	1967				
築年数	28年	26年	25年	26年	27年	39年	53年				
構造	R C造	R C造	R C造	R C造	S造	S造	R C・S造				
2020	R2				屋根塗装 17	屋根塗装 5		空調リース 14 校内LAN 22	17	75	
2021	R3	屋根塗装 17				▲築40年		16	17	50	
2022	R4	屋根塗装+防水 15	屋根塗装 7					16	校庭整備+受水槽 25	17	
2023	R5	トイレ改修 26			トイレ改修 13			16		17	
2024	R6	トイレ改修 20				トイレ改修 9		16		17	
2025	R7		トイレ改修 17					16		17	
2026	R8						ろ過機改修 16	16		17	
2027	R9						設計費 6	16		17	
2028	R10						改築工事 180	16		17	
2029	R11							16		17	
2030	R12					▼築50年		10		17	
2031	R13	▼築40年						2		17	
2032	R14	劣化度調査 5				▼築40年				17	
2033	R15	▼築40年		▼築40年	劣化度調査 3					17	
2034	R16	劣化度調査 6	▼築40年	劣化度調査 1						17	
2035	R17		劣化度調査 3							17	
2036	R18	実施設計 85									17
2037	R19	長寿命化工事 796			長寿命化工事 500					17	
2038	R20	長寿命化工事 1018		長寿命化工事 82		耐力度調査 11				17	
2039	R21		長寿命化工事 496							17	
2040	R22					実施設計 8				17	
2041	R23					改築(築60年) 234				17	
2042	R24									17	
2043	R25									17	
2044	R26									17	
2045	R27									17	
2046	R28									17	
2047	R29									17	
2048	R30									17	
2049	R31									17	
2050	R32									17	

第7章 個別施設計画の継続的運用方針

(1) 情報基盤の整備と活用

松本市で管理する施設カルテを活用して、施設の基本情報、光熱水費等の運営経費、工事履歴等を一元管理します。

(2) 推進体制等の整備

本計画を継続的に運用していくために、教育委員会事務局を中心に学校施設のマネジメントを行います。また、各市村教育委員会の財政部局や技術職員とも協力し、不具合箇所を早期発見、早期改善をおこなえるように日常の施設管理の質的向上をめざします。

(3) フォローアップ

本計画は、学校施設の長寿命化事業の事業計画を設定するものであり、各年度の実施計画のなかで個別の事業費を精査していきます。また、事業の進捗状況、劣化状況調査などの結果を反映して、概ね5年を目途に本計画は見直しを図るものとします。

松本市・山形村・朝日村中学校組合立鉢盛中学校
学校施設個別施設計画

令和2年11月

発行：松本市・山形村・朝日村中学校組合
編集：松本市・山形村・朝日村中学校組合
〒390-0874 長野県松本市大手 3-8-13
TEL 0263-34-3000(代表)

卷 末 資 料

- ・ 建物情報一覽
- ・ 劣化狀況調查票

通し番号	1		学校名	鉢盛中学校	学校番号	101	調査日	令和2年10月7日
建物名	特別教室棟					記入者	松本市教育委員会	
棟番号	18-1,18-2			建築年度	平成4 年度(1992 年度)			
構造種別	RC	延床面積	2,331 m ²		階数	地上 3 階 地下 階		

部位	仕様 (該当する項目にチェック)	工事履歴(部位の更新)		劣化状況 (複数回答可)	箇所数	特記事項	評価
		年度	工事内容				
1 屋根 屋上	アスファルト保護防水			降雨時に雨漏りがある		屋根材は、全体的に老朽化している。	B
	アスファルト露出防水			天井等に雨漏り痕がある			
	シート防水、塗膜防水			防水層に膨れ・破れ等がある	数箇所		
	勾配屋根(長尺金属板、折板)			屋根葺材に錆・損傷がある			
	勾配屋根(スレート、瓦類)			笠木・立上り等に損傷がある			
	その他の屋根 ()			樋やルーフトレを目視点検できない			
				既存点検等で指摘がある			
2 外壁	塗仕上げ			鉄筋が見えているところがある		軽微なひび割れが全体に発生している。木製のベランダ手摺は老朽化が進行している。	B
	タイル張り、石張り			外壁から漏水がある			
	金属系パネル			塗装の剥がれ	数箇所		
	コンクリート系パネル(ALC等)			タイルや石が剥がれている			
	その他の外壁 ()			大きな亀裂がある			
	アルミ製サッシ			窓・ドアの廻りで漏水がある			
	鋼製サッシ			窓・ドアに錆・腐食・変形がある			
	断熱サッシ、省エネガラス			外部手すり等の錆・腐朽	全体		
			既存点検等で指摘がある				

部位	修繕・点検項目	改修・点検年度	特記事項(改修内容及び点検等による指摘事項)	評価
3 内部仕上 (床・壁・天井) (内部建具) (間仕切等) (照明器具) (エアコン)等	老朽改修			B
	エコ改修			
	トイレ改修			
	法令適合			
	校内LAN	R2		
	空調設置	R2	賃貸借契約による設置	
	障害児等対策			
	防犯対策			
	構造体の耐震対策			
	非構造部材の耐震対策			
その他、内部改修工事				
4 電気設備	分電盤改修			B
	配線等の敷設工事			
	昇降設備保守点検			
	その他、電気設備改修工事			
5 機械設備	給水配管改修			B
	排水配管改修			
	消防設備の点検	R2		
	その他、機械設備改修工事			

特記事項(改修工事内容や12条点検、消防点検など、各種点検等による指摘事項が有れば、該当部位と指摘内容を記載)

健全度
75
/ 100点

通し番号	2		学校名	鉢盛中学校	学校番号	101	調査日	令和2年10月7日
建物名	普通教室棟					記入者	松本市教育委員会	
棟番号	26,26-2,28			建築年度	平成6 年度(1994 年度)			
構造種別	RC	延床面積	3,135 m ²		階数	地上 3 階 地下 階		

部位	仕様 (該当する項目にチェック)	工事履歴(部位の更新)		劣化状況 (複数回答可)	箇所数	特記事項	評価
		年度	工事内容				
1 屋根 屋上	アスファルト保護防水			降雨時に雨漏りがある		屋根材は、全体的に老朽化している。	B
	アスファルト露出防水			天井等に雨漏り痕がある			
	シート防水、塗膜防水			防水層に膨れ・破れ等がある			
	勾配屋根(長尺金属板、折板)			屋根葺材に錆・損傷がある	全体		
	勾配屋根(スレート、瓦類)			笠木・立上り等に損傷がある			
	その他の屋根 (ステンレス防水)			樋やルーフトレを目視点検できない			
				既存点検等で指摘がある			
2 外壁	塗仕上げ			鉄筋が見えているところがある		軽微なひび割れが全体に発生している。木製のベランダ手摺は老朽化が進行している。	B
	タイル張り、石張り			外壁から漏水がある	1		
	金属系パネル			塗装の剥がれ	数箇所		
	コンクリート系パネル(ALC等)			タイルや石が剥がれている			
	その他の外壁 ()			大きな亀裂がある			
	アルミ製サッシ			窓・ドアの廻りで漏水がある			
	鋼製サッシ			窓・ドアに錆・腐食・変形がある			
	断熱サッシ、省エネガラス			外部手すり等の錆・腐朽	全体		
			既存点検等で指摘がある				

部位	修繕・点検項目	改修・点検年度	特記事項(改修内容及び点検等による指摘事項)	評価
3 内部仕上 (床・壁・天井) (内部建具) (間仕切等) (照明器具) (エアコン)等	老朽改修			B
	エコ改修			
	トイレ改修			
	法令適合			
	校内LAN	R2		
	空調設置	R2	賃貸借契約により設置	
	障害児等対策	H21	EV棟増築	
	防犯対策			
	構造体の耐震対策			
	非構造部材の耐震対策			
その他、内部改修工事				
4 電気設備	分電盤改修			B
	配線等の敷設工事			
	昇降設備保守点検	R2		
	その他、電気設備改修工事			
5 機械設備	給水配管改修			B
	排水配管改修			
	消防設備の点検	R2		
	その他、機械設備改修工事			

特記事項(改修工事内容や12条点検、消防点検など、各種点検等による指摘事項が有れば、該当部位と指摘内容を記載)

健全度
75
/ 100点

通し番号	3	
学校名	鉢盛中学校	学校番号 101
建物名	管理棟	調査日 令和2年10月7日
棟番号	30	記入者 松本市教育委員会
構造種別	RC	建築年度 平成7年度(1995年度)
	延床面積 1,487 m ²	階数 地上 2階 地下 階

部位	仕様 (該当する項目にチェック)	工事履歴(部位の更新)		劣化状況 (複数回答可)	箇所数	特記事項	評価
		年度	工事内容				
1 屋根 屋上	アスファルト保護防水			降雨時に雨漏りがある	1	屋根材は、全体的に老朽化している。	B
	アスファルト露出防水			天井等に雨漏り痕がある			
	シート防水、塗膜防水			防水層に膨れ・破れ等がある			
	勾配屋根(長尺金属板、折板)			屋根葺材に錆・損傷がある			
	勾配屋根(スレート、瓦類)			笠木・立上り等に損傷がある			
	その他の屋根 ()			樋やルーフトレを目視点検できない			
				既存点検等で指摘がある			
2 外壁	塗仕上げ			鉄筋が見えているところがある	数箇所	軽微なひび割れが全体に発生している。	B
	タイル張り、石張り			外壁から漏水がある			
	金属系パネル			塗装の剥がれ			
	コンクリート系パネル(ALC等)			タイルや石が剥がれている			
	その他の外壁 ()			大きな亀裂がある			
	アルミ製サッシ			窓・ドアの廻りで漏水がある			
	鋼製サッシ			窓・ドアに錆・腐食・変形がある			
	断熱サッシ、省エネガラス			外部手すり等の錆・腐朽			
			既存点検等で指摘がある				

部位	修繕・点検項目	改修・点検年度	特記事項(改修内容及び点検等による指摘事項)	評価
3 内部仕上 (床・壁・天井) (内部建具) (間仕切等) (照明器具) (エアコン)等	老朽改修			B
	エコ改修			
	トイレ改修			
	法令適合			
	校内LAN	R2		
	空調設置	R2	賃貸借契約により設置	
	障害児等対策			
	防犯対策			
	構造体の耐震対策			
	非構造部材の耐震対策			
その他、内部改修工事				
4 電気設備	分電盤改修			B
	配線等の敷設工事			
	昇降設備保守点検			
	その他、電気設備改修工事			
5 機械設備	給水配管改修			B
	排水配管改修			
	消防設備の点検	R2		
	その他、機械設備改修工事			

特記事項(改修工事内容や12条点検、消防点検など、各種点検等による指摘事項が有れば、該当部位と指摘内容を記載)

--

健全度
75
/ 100点

通し番号	4		学校名	鉢盛中学校	学校番号	101	調査日	令和2年10月7日
建物名	給食室					記入者	松本市教育委員会	
棟番号	29			建築年度	平成6 年度 (1994 年度)			
構造種別	RC	延床面積	246 m ²		階数	地上 1 階 地下 階		

部位	仕様 (該当する項目にチェック)	工事履歴(部位の更新)		劣化状況 (複数回答可)	箇所数	特記事項	評価
		年度	工事内容				
1 屋根 屋上	アスファルト保護防水			降雨時に雨漏りがある		屋根材は、全体的に老朽化している。	B
	アスファルト露出防水			天井等に雨漏り痕がある			
	シート防水、塗膜防水			防水層に膨れ・破れ等がある			
	勾配屋根(長尺金属板、折板)			屋根葺材に錆・損傷がある			
	勾配屋根(スレート、瓦類)			笠木・立上り等に損傷がある			
	その他の屋根 ()			樋やルーフトレを目視点検できない			
				既存点検等で指摘がある			
2 外壁	塗仕上げ			鉄筋が見えているところがある			B
	タイル張り、石張り			外壁から漏水がある			
	金属系パネル			塗装の剥がれ	数箇所		
	コンクリート系パネル(ALC等)			タイルや石が剥がれている			
	その他の外壁 ()			大きな亀裂がある			
	アルミ製サッシ			窓・ドアの廻りで漏水がある			
	鋼製サッシ			窓・ドアに錆・腐食・変形がある			
断熱サッシ、省エネガラス			外部手すり等の錆・腐朽				
			既存点検等で指摘がある				

部位	修繕・点検項目	改修・点検年度	特記事項(改修内容及び点検等による指摘事項)	評価
3 内部仕上 (床・壁・天井) (内部建具) (間仕切等) (照明器具) (エアコン)等	老朽改修	H30	内装改修	A
	エコ改修			
	トイレ改修			
	法令適合			
	校内LAN			
	空調設置	H23		
	障害児等対策			
	防犯対策			
	構造体の耐震対策			
	非構造部材の耐震対策			
その他、内部改修工事	H30	風除室の増築		
4 電気設備	分電盤改修			B
	配線等の敷設工事			
	昇降設備保守点検			
	その他、電気設備改修工事			
5 機械設備	給水配管改修			B
	排水配管改修			
	消防設備の点検	R2		
	その他、機械設備改修工事			

特記事項(改修工事内容や12条点検、消防点検など、各種点検等による指摘事項が有れば、該当部位と指摘内容を記載)

--

健全度
84 / 100点

通し番号	5				
学校名	鉢盛中学校	学校番号	101	調査日	令和2年10月7日
建物名	屋内運動場			記入者	松本市教育委員会
棟番号	19	建築年度	平成5 年度(1993 年度)		
構造種別	S	延床面積	1,553 m ²	階数	地上 1 階 地下 階

部位	仕様 (該当する項目にチェック)	工事履歴(部位の更新)		劣化状況 (複数回答可)	箇所数	特記事項	評価
		年度	工事内容				
1 屋根 屋上	<input type="checkbox"/> アスファルト保護防水 <input type="checkbox"/> アスファルト露出防水 <input type="checkbox"/> シート防水、塗膜防水 <input type="checkbox"/> 勾配屋根(長尺金属板、折板) <input type="checkbox"/> 勾配屋根(スレート、瓦類) <input type="checkbox"/> その他の屋根 (<input type="checkbox"/>)	R2	屋根塗装	<input type="checkbox"/> 降雨時に雨漏りがある	1		A
				<input type="checkbox"/> 天井等に雨漏り痕がある			
				<input type="checkbox"/> 防水層に膨れ・破れ等がある			
				<input type="checkbox"/> 屋根葺材に錆・損傷がある			
				<input type="checkbox"/> 笠木・立上り等に損傷がある			
				<input type="checkbox"/> 樋やルーフトレを目視点検できない			
				<input type="checkbox"/> 既存点検等で指摘がある			
2 外壁	<input type="checkbox"/> 塗仕上げ <input type="checkbox"/> タイル張り、石張り <input type="checkbox"/> 金属系パネル <input type="checkbox"/> コンクリート系パネル(ALC等) <input type="checkbox"/> その他の外壁 (<input type="checkbox"/>) <input type="checkbox"/> アルミ製サッシ <input type="checkbox"/> 鋼製サッシ <input type="checkbox"/> 断熱サッシ、省エネガラス			<input type="checkbox"/> 鉄筋が見えているところがある	数箇所		B
				<input type="checkbox"/> 外壁から漏水がある			
				<input type="checkbox"/> 塗装の剥がれ			
				<input type="checkbox"/> タイルや石が剥がれている			
				<input type="checkbox"/> 大きな亀裂がある			
				<input type="checkbox"/> 窓・ドアの廻りで漏水がある			
				<input type="checkbox"/> 窓・ドアに錆・腐食・変形がある			
				<input type="checkbox"/> 外部手すり等の錆・腐朽			
<input type="checkbox"/> 既存点検等で指摘がある							

部位	修繕・点検項目	改修・点検年度	特記事項(改修内容及び点検等による指摘事項)	評価
3 内部仕上 (床・壁・天井) (内部建具) (間仕切等) (照明器具) (エアコン)等	<input type="checkbox"/> 老朽改修			B
	<input type="checkbox"/> エコ改修			
	<input type="checkbox"/> トイレ改修			
	<input type="checkbox"/> 法令適合			
	<input type="checkbox"/> 校内LAN			
	<input type="checkbox"/> 空調設置			
	<input type="checkbox"/> 障害児等対策			
	<input type="checkbox"/> 防犯対策			
	<input type="checkbox"/> 構造体の耐震対策			
	<input type="checkbox"/> 非構造部材の耐震対策	H26		
4 電気設備	<input type="checkbox"/> 分電盤改修			B
	<input type="checkbox"/> 配線等の敷設工事			
	<input type="checkbox"/> 昇降設備保守点検			
	<input type="checkbox"/> その他、電気設備改修工事			
5 機械設備	<input type="checkbox"/> 給水配管改修			B
	<input type="checkbox"/> 排水配管改修			
	<input type="checkbox"/> 消防設備の点検	R2		
	<input type="checkbox"/> その他、機械設備改修工事			

特記事項(改修工事内容や12条点検、消防点検など、各種点検等による指摘事項が有れば、該当部位と指摘内容を記載)

健全度
77 / 100点

通し番号	6		学校名	鉢盛中学校	学校番号	101	調査日	令和2年10月7日
建物名	武道場					記入者	松本市教育委員会	
棟番号	16			建築年度	昭和56年度(1981年度)			
構造種別	S	延床面積	602 m ²		階数	地上 1階 地下 階		

部位	仕様 (該当する項目にチェック)	工事履歴(部位の更新)		劣化状況 (複数回答可)	箇所数	特記事項	評価
		年度	工事内容				
1 屋根 屋上	アスファルト保護防水	R2	屋根塗装	降雨時に雨漏りがある			A
	アスファルト露出防水			天井等に雨漏り痕がある			
	シート防水、塗膜防水			防水層に膨れ・破れ等がある			
	勾配屋根(長尺金属板、折板)			屋根葺材に錆・損傷がある			
	勾配屋根(スレート、瓦類)			笠木・立上り等に損傷がある			
	その他の屋根 ()			樋やルーフトレを目視点検できない			
				既存点検等で指摘がある			
2 外壁	塗仕上げ			鉄筋が見えているところがある		壁全体の塗装の劣化や金物・ブレース等に錆が多く発生している。	C
	タイル張り、石張り			外壁から漏水がある			
	金属系パネル			塗装の剥がれ			
	コンクリート系パネル(ALC等)			タイルや石が剥がれている			
	その他の外壁 ()			大きな亀裂がある			
	アルミ製サッシ			窓・ドアの廻りで漏水がある			
	鋼製サッシ			窓・ドアに錆・腐食・変形がある			
	断熱サッシ、省エネガラス			外部手すり等の錆・腐朽			
	既存点検等で指摘がある						

部位	修繕・点検項目	改修・点検年度	特記事項(改修内容及び点検等による指摘事項)	評価
3 内部仕上 (床・壁・天井) (内部建具) (間仕切等) (照明器具) (エアコン)等	老朽改修			B
	エコ改修			
	トイレ改修			
	法令適合			
	校内LAN			
	空調設置			
	障害児等対策			
	防犯対策			
	構造体の耐震対策	H21		
	非構造部材の耐震対策	H21		
その他、内部改修工事				
4 電気設備	分電盤改修			B
	配線等の敷設工事			
	昇降設備保守点検			
	その他、電気設備改修工事			
5 機械設備	給水配管改修			B
	排水配管改修			
	消防設備の点検	R2		
	その他、機械設備改修工事			

特記事項(改修工事内容や12条点検、消防点検など、各種点検等による指摘事項が有れば、該当部位と指摘内容を記載)

--

健全度
67 / 100点